

広報

ただみ

2

2017 月号

No. 561
平成29年2月10日

オンベの火で焼いた餅を食べ、一年の息災を祈る

今月の表紙

今月の表紙は1月28日に小林地区で行われた「オンベ(サイノカミ)」の様子です。

オンベは集落の若手で組織する「小林明豊会」が主催し、11月から準備を進めてきました。会場では御神酒や甘酒の振る舞いのほか、おやつ拾いなどが行われ大人から子どもまで多くの方々が参加されました。そして、オンベの火で焼いた餅を食べ、一年の息災を祈りました。

<特集>

畦畔等管理省力化モデル事業……………2~3

青少年健全育成主張大会及び各種表彰…4~7

学術調査研究助成事業成果発表会 ……8~11

《News&flash》

東大研究センターと連携協定 ほか……12~13

《町の話》

只見毎日杯Gスラローム大会 ほか……14~15

寒高冷地の畦畔管理の省力化に役立つ

「畦畔等管理省力化モデル事業」について

皆さんは、田畑の境にあるあぜのり面など「畦畔」の管理に苦労されてはいないでしょうか。傾斜が多い畦畔は、草刈り作業で管理することがほとんどで、その作業は大変重労働であり、危険も伴います。

そこで、町では畦畔等の管理の省力化かつ低コスト化を図る「畦畔等管理省力化モデル事業」を実施しております。今回の特集は、この事業を詳しくご紹介します。

葉や茎が柔らかくしな垂れるので、適度な草丈を維持でき、年数がたつと地面をほう茎が堆積してマットを形成し、雑草種子の発芽を防ぎます。長靴のゴム底でも滑りにくいというメリットもあり、定着すると数年間、畦畔管理の省力化に役立つと注目されています。

◆畦畔等管理省力化モデル事業とは

只見町は、中山間地域であるため畦畔等のり面が広い

ほ場が多く、管理作業に多くの労力や経費がかかる他、危険を伴う作業のため、省力化や低コスト化が望まれています。またその管理が困難になり、適切な農地管理ができず耕作放棄につながることも懸念されます。そこで、その管理を将来的に

低コストで省力化する方法として、「芝」で畦畔等を覆う方法を推奨し、そのモデルとなる取組みに対して補助金を交付する事業を行っています。

◆畦畔を覆う「芝」ベントグラスの特徴

芝草の一種であるベントグラスの中でも「畦畔グリーン」は、耐寒性が高く中山間地でも容易に越冬できるもので、他の豪雪地帯でも導入されています。

◆事業の概要について

◆交付対象者

集落又は農業者組織

◆交付対象箇所

畦畔、畦畔のり面、農作業道のり面、水路のり面

◆交付対象経費

畦畔等管理の省力化に寄与する資材の購入費用

(例)芝種子(畦畔グリーン)、肥料、除草剤等

みどりの芝で作業を軽減

生産者のためにできることを！

▲水田の畦畔に播種(はしゅ)した榎戸地区





▲畑の畦畔に播種した大倉地区



▲水田の畦畔に播種した蒲生地区



▲土壌表層を畦畔グリーンの葉で覆います

《平成28年度実施地区》

- ◆只見地区／蒲生、入叶津
- ◆朝日地区／楢戸、黒谷、黒谷入、亀岡
- ◆明和地区／大倉、小林

合計／8ヶ所

利用者の声



多面的機能支払
蒲生集落保全会
会長 馬場新介さん

本集落は農業の高齢化が進む中、農作業の軽減を図ろうと考えて本事業に取り組みました。関係者の指導のもと、播種した種がほとんど芽を出し、急傾斜も緑一色となり、現地を見れば心も洗われます。この事業が本町に定着すれば大きく農作業の軽減が図られます。しかし、現時点での事業経費は高く、事業普及に向けては多少課題もあるようです。



中山間地域等直接支払
楢戸集落協定
代表 横山治夫さん

種蒔きは手作業で出来ると聞いていましたが、楢戸では動力噴霧器を使って播種し、エンジンを最低にして、開口を2程度にすることで平らに蒔くことができました。台風等で種が流される場合があるので、必要に応じて種の蒔き直しと観察が重要になります。秋の段階である程度、芝の密度が高くなったので、今後の畦畔管理の省力化に繋がることを期待しています。

《畦畔グリーンの導入法》

- ◆播種時期／8月下旬～9月中旬
- ◆播種量／標準20g/m²(条件が悪い場合は増やす)
- ◆施肥管理／基肥(播種時の施肥)：窒素-リン酸-カリ＝各5g/m²(成分量)
追肥：「畦畔グリーン」の生育状況(葉の色が薄い、伸びが悪い等)を見て、適宜散布するようにします。
- ◆施工前の留意点
既存の畦畔の雑草はグリホサート剤(ラウンドアップ等)で除草処理します。
- ◆播種後の管理
「畦畔グリーン」の密度が高まる前に雑草の発生が確認された場合、手取り除草や除草剤のスポット処理等で枯殺します。
- ◆施工方法
「実播法」(種子を直接播種する方法)の他に「わら芝工法」「吹付工法」があります

- ◆補助率及び限度額
 - ・補助率／費用の100%以内
 - ・限度額／10万円
 - ※1組織1回限りとし、他補助事業との併用は不可
- ◆申請について
 - 各集落や組織で要望を取りまとめ、次の書類を農林振興課まで提出して下さい。
 - ①申請書
 - ②要望箇所の見積もり
 - ③要望箇所の位置図
- ◆お問合せ先
 - 只見町農林振興課農政係
 - ☎0241(82)5230

今年度より始まったこの事業は、農地の維持管理省力化及び保全管理を行い、耕作放棄地の減少につながると考えております。各集落・組織の積極的な申請をお待ちしております。



農林振興課
農政係
新国 透

《担当者よりメッセージ》

「主将の責任を果たす」

只見小学校6年

目黒 巧馬さん



「ふるさと再発見！〜僕の只見学」

朝日小学校6年

菅家 真心さん



「バレーボールを通して学んだこと」

明和小学校6年

橋川 綾乃さん



「兄へ」

只見中学校1年

渡部 千春さん



「影響」

只見中学校2年

吉津 沙優さん



～私の想いを届けたい～

第31回

只見町青少年健全育成主張大会

「中学校生活で学んだこと」

只見中学校3年

渡部 倫さん



「只見町短期海外留学を経験して」

只見高校2年

武田 元さん



「修学旅行で学んだこと」

只見高校2年

五十嵐 未来さん



「私の生き方」

只見高校2年

渡部 滉太さん



「奉仕の輪を広めよう」

小林明老会

角田 睦さん



町民文芸コンクール 各部門「特選」 の皆さん

短歌部門
小学校上学年の部



すずき りこ
鈴木 莉子さん
(只見小5年)

短歌部門
小学校下学年の部



いかし れん
五十嵐 蓮さん
(朝日小2年)

作文部門
小学校上学年の部



ほしかわ あやの
橋川 綾乃さん
(明和小6年)

俳句部門
小学校上学年の部



さんべ そうた
三瓶 創大さん
(朝日小5年)

俳句部門
小学校下学年の部



めぐろ まゆ
目黒 真由さん
(只見小3年)

短歌部門
一般の部



めぐろ とみこ
目黒 富子さん
(黒谷)

短歌部門
高校生の部



さかい こうし
酒井 康志さん
(只見高1年)

短歌部門
中学生の部



ほりかね ふるか
堀金 楓樺さん
(只見中2年)

フォト俳句部門
一般の部



あべ じゅんこ
阿部 順子さん
(只見)

フォト短歌部門
一般の部



につくに ゆきこ
新國 由紀子さん
(只見)

俳句部門
一般の部



わたなべ なおえ
渡部 直江さん
(福井)

俳句部門
高校生の部



いかし りん
五十嵐 凜さん
(只見高1年)

俳句部門
中学生の部



いちじょう こうすけ
一条 洸輔さん
(只見中1年)

1月28日に明和振興センターで、只見町青少年健全育成町民会議の主催により「第31回只見町青少年健全育成主張大会」が行われ、約100名が会場を訪れました。

主張大会には、小学生3名、中学生3名、高校生3名、一般1名の計10名の参加者が学校での経験や普段考えている事、夢や目標など様々な想いを発表され、発表者の素晴らしいメッセージに会場からは、大きな拍手が送られました。

その後、平成28年度芸術文化賞、スポーツ優秀選手賞、第40回町民文芸コンクールの表彰式が行われ、町民文芸コンクールでは審査の結果、上記の方々が特選となりました。

また、町民文芸コンクール入賞者及び、芸術文化賞、スポーツ優秀選手賞の受賞者は次ページのとおりです。



▲(写真/表彰式)スポーツ優秀選手賞で齋藤教育長から表彰を受ける只見高校3年生の目黒誠也さん(左)



▲(写真/主張大会)大勢の来場者の前で堂々披露した発表者の皆さん



▲(写真/町民文芸コンクール受賞者と関係者の皆さん)

第四十回只見町民文芸コンクール入賞者(敬称略)

【作文部門】

◎小学校下学年の部

- ▽入選/渡部仁奈(朝日小2年)
- 大竹蓮斗(明和小3年) ▽佳作/山内悠愛(明和小1年) 梁取暖(明和小1年)

◎小学校上学年の部

- ▽入選/酒井悠来(只見小6年)
- 松永佳音(只見小4年) ▽佳作/目黒琳太郎(明和小4年) 浅野礼(明和小6年) 渡部悠行(朝日小4年) 伊藤太久摩(朝日小5年) 飯塚妃(明和小4年)

◎中学生の部

- ▽佳作/赤塚莉子(只見中3年)

【詩部門】

◎小学校下学年の部

- ▽入選/五十嵐愛葉(只見小1年)
- 渡部仁奈(朝日小2年) ▽佳作/矢沢栞(只見小1年) 五十嵐愛莉(只見小2年) 吉津瑞希(朝日小2年)

◎小学校上学年の部

- ▽入選/青田昂志郎(只見小6年)
- 渡部美空(朝日小4年) ▽佳作/目黒悠斗(朝日小4年) 渡部悠行(朝日小4年) 本名真歩(朝日小5年)

◎高校生の部

- ▽入選/五十嵐夏希(只見高2年)

【短歌部門】

◎小学校下学年の部

- ▽佳作/新國愛葉(只見高1年)
- ▽入選/矢沢亮太(只見小3年)
- 目黒夏穂(只見小2年)
- ▽佳作/橋川小絢(明和小3年)
- 酒井麗(只見小3年)

◎小学校上学年の部

- ▽入選/平野奏汰(明和小4年)
- 新國響(只見小4年) ▽佳作/三瓶創大(朝日小5年) 目黒鈴(朝日小5年)

◎中学生の部

- ▽入選/鈴木冷菜(只見中3年)
- ▽佳作/山内優(只見中3年) 梁取ころ(只見中1年)

◎高校生の部

- ▽入選/吉津万尋(只見高1年)
- 飯塚春輝(只見高2年) ▽佳作/目黒眞子(只見高2年) 武田元(只見高2年)

◎一般の部

- ▽入選/吉津久仁子(黒谷) ▽佳作/渡部ユキ子(福井)

【俳句部門】

◎小学校下学年の部

- ▽入選/湯田桃杏(只見小1年) 梁取歩(朝日小2年) ▽佳作/五十

- 嵐悠陽(只見小2年) 伊藤芽衣(朝日小2年) 角田智希(明和小3年)

◎小学校上学年の部

- ▽入選/栗城溪人(朝日小5年) 山内大暉(明和小6年) ▽佳作/渡部有希人(只見小4年) 酒井悠来(只見小6年) 梁取瑠奈(朝日小4年)

◎中学生の部

- ▽入選/鈴木美羽(只見中2年) 渡部春輝(只見中2年) ▽佳作/菅家尚真(只見中3年) 河原田隼斗(只見中3年) 鈴木和海(只見中3年)

◎高校生の部

- ▽入選/佐藤海夢(只見高1年)
- 大竹涼華(只見高1年) ▽佳作/穴澤元氣(只見高2年) 大石千浩(只見高2年) 飯塚春輝(只見高2年)

◎一般の部

- ▽入選/五十嵐貴美子(蒲生) 坂内久泰(只見) ▽佳作/目黒永子(只見) 菅家ミヨ子(只見) 目黒富子(黒谷)

【ラオト短歌部門】

- ▽入選/新國洋子(只見)

【ラオト俳句部門】

- ▽入選/目黒富子(黒谷)



▲(写真/芸術文化・スポーツ優秀選手賞の受賞者と関係者の皆さん)

学校六年
綾乃
千春

学校二年
沙優
倫

平成二十八年年度芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞表彰者(敬称略)

【芸術文化賞表彰者】

▽梁取ゆず (只見中1年)
 ▽平成28年度「ふくしまを十七字
 で奏でよう絆ふれあい支援事業」
 /復興部門 最優秀賞

▽新國太陽 (只見中1年)
 ▽平成28年度中学生の「税につい
 ての作文」 / 東北地区納税貯蓄組
 合連合会会長賞

▽大竹涼華 (只見高1年)
 ▽風とロックいも煮会2016
 「アコワン・グランプリ」 / 優勝

【スポーツ優秀選手表彰者】
 ▽目黒拓海 (只見町スキースポー
 ツ少年団)
 ▽第68回福島県スポーツ少年団体
 育大会スキー競技会兼、第19回福
 島県ジュニアスキー選手権競技会
 「アルペン種目」 / 県大会3位

▽鈴木来菜 (只見町スキースポー
 ツ少年団)
 ▽第68回福島県スポーツ少年団体
 育大会スキー競技会兼、第19回福
 島県ジュニアスキー選手権競技会

▽馬場遊茶・堀金楓樺・馬場菊
 梁取こころ・梁取ゆず・馬場萌
 (只見中学校剣道部)
 ▽平成28年度全会津中学校選抜剣
 道大会 / 会津大会優勝
 ▽目黒豊 (若松商業高校2年)

「アルペン種目」 / 県大会優勝

▽橋川綾乃・三瓶楓・印南蒼羽・
 山中美紅・大竹未桜・鈴木来菜・
 五十嵐陽菜・青山日菜花・五十嵐
 杏・山田夢空・山本愛佳・佐藤静
 香・齋藤椿・三瓶なつめ (只見バ
 レーボールクラブ)
 ▽うつくしまふくしま第39回福島
 県小学生バレーボール大会会津地
 区大会 / 会津大会優勝

▽飯塚みゆき・鈴木美羽・新国 理紗・星菜織・梁取結花・山中 千夏・五十嵐せな・小野佑月・酒 井香苗・星佑奈 (只見中学校女子 バレー部)

▽鈴木道也 (南会津高校2年)
 ▽平成27年度福島県高等学校新人
 スキー大会兼、第68回福島県スキ
 ー選手権大会「アルペン」
 / 県大会3位

▽目黒誠也 (只見高校3年)
 ▽①第62回福島県高等学校体育大
 会陸上競技大会会津地区予選会
 / 男子砲丸投げ 会津大会1位
 / ②第66回全会津総合体育大会
 / 男子円盤投げ・男子砲丸投げ 会
 津大会優勝

▽藤井智也 (只見高校教諭)
 ▽第71回国民体育大会2016希
 望郷いわて国体「バレーボール」
 / 全国大会7位

▽角田妃菜子・鈴木菜美 (南会津
 高校バレー部)
 ▽平成28年度福島県高等学校新人
 体育大会バレーボール競技 / 会津
 大会優勝

▽第68回秋季東北地区高等学校野
 球大会会津支部予選
 / 会津大会優勝

▽角田妃菜子・鈴木菜美 (南会津
 高校バレー部)
 ▽平成28年度福島県高等学校新人
 体育大会バレーボール競技 / 会津
 大会優勝

▽鈴木道也 (南会津高校2年)
 ▽平成27年度福島県高等学校新人
 スキー大会兼、第68回福島県スキ
 ー選手権大会「アルペン」
 / 県大会3位

▽目黒誠也 (只見高校3年)
 ▽①第62回福島県高等学校体育大
 会陸上競技大会会津地区予選会
 / 男子砲丸投げ 会津大会1位
 / ②第66回全会津総合体育大会
 / 男子円盤投げ・男子砲丸投げ 会
 津大会優勝

▽藤井智也 (只見高校教諭)
 ▽第71回国民体育大会2016希
 望郷いわて国体「バレーボール」
 / 全国大会7位

研究成果発表会



▲一人持ち時間30分以内で発表と質疑が行われ、来場者から「再度継続して調査をお願いしたい」と評された程の発表もあり、今後の調査の進展や得られた成果が学会や学術論文で発表され、只見町の価値がより広く周知されることが期待されます

平成28年度「自然首都・只見」学術調査研究助成事業の成果発表会が1月28日、朝日振興センターで行われ、町内外から約50名が来場されました。

この事業は「自然首都・只見」のブランド確立を目的に、只見町の自然環境、生活・文化について研究調査する研究機関や大学などに「学術調査

研究助成金」を交付し、只見町の価値の科学的評価を行うもので、平成24年度から始まりました。

今回は学生や研究者7名が交付を受け、植物やブナ林、スズメバチなどをテーマに研究成果を発表されました。発表された主な内容を皆さんにご紹介致します。

「ヤブツバキとユキツバキの

送粉様式と種子生産の比較」

新潟大学 農学部

片山 瑠衣さん

目的・調査方法

日本に自生しているカメラア節(ツバキの仲間のグループ)はヤブツバキとユキツバキの2種がある。両種の花形質(花弁色、大きさ)は、花粉を鳥類に運ばせる鳥媒植物に多く見られる形質である。しかし、実際にはユキツバキは昆虫媒介植物である。ユキツバキの花形質がカメラア節の系統的な保守性によるものなのか、昆虫類に対する適応的なものなのかは解明されていない。また、ユキツバキの種子繁殖については未解明な点が多い。そこで、ヤブツバキとユキツバキの①花蜜量、糖度、香気成分を比較し、ユキツバキの花形質の花粉媒介者に対する適応的な意義を検証すること、さらに②自殖率を調べ、繁殖戦略としての種子生産の意義について明らかにすることを目的とした。

調査方法は、只見町のユキツバキ、新潟県佐渡市のヤブツバキから花を採取し、蜜量、糖度、香気成分を比較した。また、葉と種子からそれぞれDNAを抽出し、SSRマーカーを用いた親子解析を行い、自殖率を比較した。

結果・まとめ

花蜜量と糖度は、ヤブツバキは蜜量が多く糖度が低く、ユキツバキは蜜量が少なく糖度が高い結果となった。したがって、ユキツバキの花蜜形質は鳥媒ではなく虫媒植物にみられる形質であり、花の大きさや色の鳥媒植物に見られる形質は、カメラア節の系統的な制約により、保存されている形質である可能性が示唆された。

臭気成分については明確な違いがみられず、今後の条件の検討が必要であった。

自殖率は、ヤブツバキがほぼ他殖であったのに対し、ユキツバキは高い自殖率を示した。ユキツバキは、雪庄により枝が地面に接地しそれが新しい地上幹となる伏条更新を行い巨大なクローン個体を形成することもあるクローン植物であり、小型のハエや甲虫などが花粉媒介者であることから送粉距離が限られるため、自殖による種子生産方法を残している可能性があると考えられた。



「ユネスコエコパーク(BR)只見の 現在を綾、屋久島の例を交えて考える」

放送大学 大学院 文化科学研究科

戸田 恵美さん



目的・調査方法

前年度の同調査において、綾・只見・屋久島の3つのユネスコエコパーク(以下、BR)では住民が自然との共生に努力する姿勢が評価され、新たにBRの登録、再承認につながったことが明確になった。

今回はユネスコエコパークであるという認識の下、各自治体がそのことをどのようにとらえ、自然との共生と、地域の持続的な活性化の取り組みを調査するとともに、行政と住民間、または住民間での認識・意識の違いを調べることで、自治体が解決すべき課題を探る。

また、「住民と行政、研究者との協働」、「住民の内発的な活動」についても注目する。

調査の結果から3地域の取り組みを評価し、今後の只見町の持続的発展に関する指針を示すものとする。

結果・まとめ

綾BRでは、大学と協定を締結し、地域振興との連携が期待されている。建物の有効利用、NPO団体との協働等、綾BRのロールモデルとしての地位を着実に築いているが、有機農業の利益性、販路や継続の難しさ等の課題がある。屋久島・口永良部BRは、口永良部島で2015年の噴火により計画が白紙となった状態だが、復興のさなか若者の負担を減らすべく活動する団体や、奔走する若者の姿があった。新たな地域振興等も見られた一方で、世界自然遺産を有する屋久島町の行政はBRに目向いていないという課題があった。只見BRでは、日本総研を交え、事業が進んでいる。行政への批判も聞かれたが、地区単位での環境保全や伝統継承、薬効植物栽培、大学との連携や、特産品の開発を目指す若者の姿もあった。各地域とも行政によって住民との意識のずれが見られたが、各BRの学びを活かし、着実な地域振興のため、今一度、只見らしき、町民が残したい只見の姿を見返してみることが必要だろう。

「只見町における高層湿原 の分布と群集組織」

希少種保全研究会

菊地 賢さん



目的・調査方法

東北地方の多雪地域には、多雪環境により形成される湿原が数多く見られる。急峻な山地に囲まれた只見町には湿原は少ないが、叶津地区や布沢地区周辺の比較的なだらかな山地では、小規模な湿原がみられる。しかし、大曽根湿原を除きこれらの湿原ではほとんど調査が行われておらず、その分布や実態はほとんど分かっていない。只見町の生物多様性保全の観点から、湿原に関する基礎的情報の蓄積は急務である。そこで本研究は、町内の湿原の基礎的情報を得るため、湿原の分布および群集組成について調査を行った。

調査は、只見町内で確認された叶津地区と梁取・布沢地区の合計7箇所(7箇所)の湿原において行った。各湿原に8〜35ヶ所の植生枠を設け、枠内に出現する維管束植物とオオミズゴケ類について、種ごとに優占度指数と植生高を記録した。そこで得られた152枠の植生データを基にクラスター解析をおこなった。

結果・まとめ

クラスター解析の結果、湿地7箇所152枠の湿地性植物群落は10の植生タイプに大別することができた。また、湿地により群集組成には差異がみられた。大曽根湿原ではオオミズゴケ群集をはじめ、ヤマドリゼンマイ群集、ヌマガヤ群集、ヨシ群集を含む高層〜低層湿原にかけての典型的な群集組成を呈し、他湿地に比べ最も種多様性が高かった。野々沢の谷地、大谷地、ササキ沼でも、オオミズゴケ群集やヨシ群集が見られ、群集組成は類似し、組成は比較的単純であるが、高層〜低層湿原にかけての湿原性群集組成を有する湿原であると考えられた。化物谷地、小三本沢の湿地や向谷地では典型的な湿原性植物群集とは異なり、中間・低層湿原、あるいは湿原とは異なる湿性植物群集だった。こうした群集組成の違いは湿地の規模や成因、歴史の違いに起因するものと考えられる。それらの違いを踏まえ、只見町の湿原の重要性を適正に評価し保全していくことが望まれる。

「土壌動物の棲みかとしての樹洞 —その形成要因と動物群集の構造—

東京農工大学

吉田 智弘さん



目的・調査方法

ブナは伐採や雪害等の物理的ダメージにより樹形が複雑になる。このような形態変化は、樹上に落葉落枝を堆積させるくぼみ(樹洞)を形成し、土壌動物に林床とは異なる棲みかを提供する。樹洞は林内に不均一に分布し、樹洞の形成は、立地条件や樹木の状態等の環境因子により決定される可能性がある。また、樹洞内外部の環境は、直接・間接的に生息する土壌動物に影響を及ぼす。本研究は、ブナ林の樹洞形成に関わる環境因子を調査することで、樹洞形成に関わる要因を特定し、樹洞内外の環境因子が樹洞内部の土壌動物群集に及ぼす影響を検討した。

調査は、只見町の蒲生地区「あがりこブナの森」、梁取地区「学びの森」、下福井地区、蒲生岳山麓付近、浅草岳・叶津登山道の5か所のブナ林で実施した。各調査地で林分の傾斜角、60本のブナの幹直径、樹洞数、樹洞の形状・サイズを測定した。また、樹洞から枯死有機物を採集し、土壌動物を抽出し、土壌動物を同定した。また、枯死有機物の含水率を算出した。

結果・まとめ

調査の結果、樹幹が太く、立地の傾斜角が大きい林分において樹洞数が多かった。樹幹の太さと立地の傾斜角の2つの環境因子の両方が森林における樹洞の形成に重要であると考えられた。

樹洞内は、開口面積が大きいほど枯死有機物量は多かった。これは樹洞の開口面積が大きいほど落下する枯死有機物を捉えやすいことを示している。

樹洞内の環境因子と土壌動物の個体数の関連について解析した結果、土壌動物の全個体数は、枯死有機物量は関連がないのに対して、枯死有機物の含水率、樹洞容量、樹洞の開口面積と有意な関連がみられた。

このことは、樹洞を利用する土壌動物がその資源量(枯死有機物量)よりも、棲みかの状態を示す環境因子によって強い影響を受けていることを示唆している。

「只見ブナ林の大気汚染環境と ブナのストレス診断」

北海道大学

大学院農学研究院

齋藤 秀之さん



目的・調査方法

気候変動や大気汚染など、近年ブナ林を取りまく環境は変化している。只見町のブナ林は、大都市とは地理的に遠隔にあるため、大気汚染影響とは無関係のように考えられるかもしれない。しかし隣接する新潟県八海山ブナ林での大気汚染物質モニタリングでは、樹木への悪影響が懸念されるオゾン(強酸化性物質)の大気濃度が毎年観察されている。只見町のブナ林では、大気汚染によるブナのストレス及び衰退の兆候は無いのだろうか? 本研究は、只見町のブナ林における成木を対象に葉のゲノミクス診断※解析を行い、環境条件がブナ林の生理状態に与えている影響を明らかにすることを目的として実施した。調査は只見町樋戸と俎板倉山のブナ林で行った。各調査地で、大気中のオゾン、二酸化窒素濃度、一酸化窒素濃度をパッシブサンプラー法で測定した。林冠木4個体を各地点で選らび、陽樹冠から枝を採取した。遺伝子発現解析は、葉から抽出したメッセンジャーRNAを定量して解析した。

結果・まとめ

大気オゾン濃度は9.9 ppbv(樋戸)から16.4 ppbv(俎板倉山山頂)の範囲であった。全国のブナ林と比較してみると、近年におけるその範囲は約20 ppbvから約50 ppbvであり、本研究の只見町ブナ林のオゾン濃度は全国的に比較して低いレベルであった。窒素酸化物の濃度についても、全国ブナ林と比較して、只見町ブナ林は必ずしも高いレベルではなかった。ゲノミクス解析からは、俎板倉山ブナ林の1個体にて、衰退と関わるシグナルの兆候がわずかな酸化影響をともなつて観測された。今後の課題として、調査地点と調査木を増やすこと、さらに追跡調査による疫学的解析と組み合わせることで、環境変動下におけるブナ林の環境影響評価のモニタリング体制が整えられると考えられた。

※ゲノミクス診断とは、遺伝子の発現パターンを環境生理情報の指標として捉え、個体の衰弱度や環境ストレス要因(酸化・高温・乾燥)を評価する診断法である。

「只見町における湧水の水質調査」

東京理科大学 薬学部 田畑 真佐子さん



目的・調査方法

只見町は豊かな自然環境を有し、水の郷としても知られる。冬季の豪雪が森林域に浸透し保持されることは、高い多様性を持つ只見地域の生物相の形成に深く関与していると思われる。只見町における湧水の水質特性や変化の情報の把握は植生や棲息生物との関わりを考えるうえで基盤的情報となり、継続的な観察データの蓄積が望まれる。また気象の異常変動が頻発し、只見地域においては豪雪と少雪が影響する可能性も考えられる。

今回の調査では町内の湧出水の特徴を捉えるとともに、その季節・経年変化、環境要因による影響等を把握していく上での基礎的資料を得ることを目的とした。

方法としては町内16地点で複数回調査・試料採取し、環境観察や出水量、水温を測定した。試料はポリエチレン容器に採った後、保冷下に運搬し、電気伝導度、pH、水中成分等の分析を行った。

結果・まとめ

各試料の採取時の水温は、気温に問わず10℃前後であった。今回調査した全ての湧水において地下水汚染は検出されず、汚濁度も低値であったため、いずれの地点でも人的汚染の可能性は極めて低いと考えられる。

溶存物質の総濃度はいずれの地区も低いものの、ケイ酸濃度は布沢地区の湧水に多く見られた。ケイ酸は降水中には含まれないことから、湧水地付近の地質(松坂峠層)の影響だと推察される。

猫淵清水においては時期的な差異を調査した。出水量は総降雨量に応じて上下していたが、ケイ酸濃度に関しては大きな変化はなかった。これらは降水が地中に十分浸透し、地質成分を溶かし込んだ後、押し出すことを示唆する。

結果として町内の湧水は正常であり、かつ湧出地の地質環境によって多様な成分組成を示した。これらの水質維持には積雪や森林樹木分布等の要因が大きく関わっていると予想されるため、今後も周辺環境の変化の観察、水質の継続チェックが重要であると考ええる。

「只見町東西にわたる各地域のスズメバチ類の分布状況」

日本昆虫学 榎原 寛さん



目的・調査方法

スズメバチ類は人を刺し、時には死に至らすこともある衛生害虫である。また、オオスズメバチはミツバチの天敵として有名であり、養蜂家にとっては大害虫として知られる。

しかし、スズメバチ類は多くの林業・農業・衛生害虫などの昆虫を捕食するため、強力な益虫でもある。

そこで、只見町全体のスズメバチ類の分布状態を明らかにするため調査を行った。

調査は只見町西部の滝神社から東部の梁取区の南会津町との境界近くまで、国道289号にほぼ沿うような地域で行った。市販のスズメバチ捕獲器を調査範囲の約1km毎に各2基設置した。

調査開始は平成28年9月21日、1回目の回収は10月10日、11日、2回目の回収は11月1日、2日である。

結果・まとめ

調査期間を通じてスズメバチ属は、キイロスズメバチ、オオスズメバチ、コガタスズメバチ、チャイロスズメバチ、モンズメバチ、ヒメスズメバチを捕獲し、本州に分布しているスズメバチ属6種は全てを得た。クロスズメバチ属は、シダクロスズメバチ、クロスズメバチが得られた。オオスズメバチは東部に多く捕獲され、只見町が東部側から開発され、良好な森林には少ないオオスズメバチがまだ西部まで十分に生息地を拡げていない可能性が考えられた。キイロスズメバチは何れの地域でも多いが、中央部が特に多かった。チャイロスズメバチは21個体捕獲され、この種は地域によつては絶滅危惧種であることから、この捕獲個体数は驚異的で、只見の自然が豊かであることの証明であろう。今回使用したスズメバチ捕獲器ではミツバチはほとんど捕獲されず、一方で、オオスズメバチが200個体以上捕獲されたことから、養蜂被害はかなり軽減されたと考えられる。

只見小中学校で海洋教育

只見町と東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターは1月24日、只見町で取り組む海洋教育に関する連携の「協定調印式」を只見小学校で行い、児童や関係者など約60名が出席しました。

この協定は、ユネスコエコパークに登録され「人と自然との共生」を理念に掲げる只見町が同センターのパートナーとして選ばれ、その中でも「只見学」を通して地域の山や川の学習を行う只見小学校をモデル校として先行的に取り組みを行います。

同センターはこれまで全国21カ所と連携しており、只見町のような山間部の自治体と協定を結ぶのは全国で初めてです。日置光久特任教授は「山、川、海は水の循環で繋がっている。海に視点を置き、全体から地球温暖化の解決



▲協定書を披露する菅家町長(左)と日置教授(右)

策を考えましよう」と話されました。

式典では、菅家町長と日置教授が出席者の前で協定書に調印を行い、菅家町長は「海洋教育を通して、子ども達にグローバルな視点を身に付けて欲しい」と挨拶し、その後同センターの及川幸彦主幹研究員による記念講演が行われました。

只見小の海洋教育は平成29年度から実施を目指し、今後計画作りを同センターと進めていきます。



▲今後海洋教育を受ける只見小の児童と支援する関係者の皆さん

只見中学校が菅家町長へ表彰報告

1月18日、スポーツ・文学の分野で素晴らしい成績を収めた只見中学校の生徒5名と今井仁校長が町役場を訪れ、菅家町長に表彰の報告を行いました。

今回の報告を受け、菅家町長は「皆さんの活躍は只見町にとって明るい話題です。今後も皆さんの活躍に期待します」と述べ、生徒達を称えました。結果は下記のとおりです。

◆第59回県中学校体育大会

スキー競技クロスカントリ

《結果》

・女子フリー優勝

目黒 楓華さん(2年)

・女子リレー優勝

1走/鈴木 美羽さん(2年)

2走/目黒 楓華さん(2年)

3走/馬場 遊茶さん(2年)

▽女子リレーは大会2連覇を果たし、東北、全国大会に挑む。

◆ふくしまを十七字で奏でよう

絆ふれあい支援事業

《結果》

・最優秀作品(復興部門)※ペア応募

「只見線 未来に向かって走り出せ」

梁取 ゆずさん(1年)

「つながれと 只見の空に 汽笛鳴る」

梁取 綾さん(母)

▽約4万1千点の中から最優秀作品

5点の1つに選ばれた。

◆中学生の税についての作文

《結果》

・東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞

新國 太陽さん(1年)

《作文タイトル》

・「国県町という家族」

▽新國さんの作文について詳しくは、先月発行の広報ただみ1月号

(No.560号)をご覧ください。



▲菅家町長へ表彰報告をした只見中学校の皆さん(写真右から/菅家町長、鈴木美羽さん、目黒楓華さん、馬場遊茶さん、梁取ゆずさん、新國太陽さん、今井校長、齋藤教育長)



▲さらなる飛躍を誓い行われた矢澤照嘉町農業委員会会長による万歳三唱

1月5日、季の郷湯ら里で「只見町新年交歓会」を開催し、町内の事業所や団体などから約150名の方が出席し、新年を祝いました。

菅家町長が「公正な行政と対話型の町づくりを基本として町政に取り組んでまいります」、齋藤町議会議長が「町当局と共に切磋琢磨し、政策提案のできる議会を目指します」と年頭のあいさつを行いました。続いて、大谷英明県南会津振興局長と星公正県議から祝辞が述べられました。

その後、只見松楓会の祝辞披露や、瞳の会のアトラクションで新年の門出を祝いました。

さらなる飛躍を誓う
平成29年度「只見町新年交歓会」



▲今年の安全を祈願する菅家町長

1月8日、朝日振興センターで「平成29年消防出初め式」を行い、消防幹部団員と関係者が出席しました。

出初め式の祈願祭では、菅家町長と目黒邦友消防団長が玉串奉奠（たまぐしほうだん）を行い、その後の訓示で菅家町長が「昨年は火災が4件発生したものの、皆さんの努力により被害を最小限に留めることができました。本年も町民が安心して暮らせる町づくりにご協力をお願いします」と述べ、目黒消防団長が「過疎・少子化により消防団の維持が課題となっておりますが、本年も皆さんのご協力を願います」と述べられ、地域を守る決意を新たにしました。

地域を守る決意新たに
消防出初め式を実施



▲認証シールを施設入口に設置したあさひヶ丘。認証された施設は、認証シールを設置できる他、県ホームページでも公表されます

県で新たに始めた、禁煙に取り組む県内の施設を登録・紹介する「空気のきれいな施設」認証制度において1月17日、町の施設「あさひヶ丘」が町内で初めて認証されました。これは、禁煙施設の拡大を図り受動喫煙を防ぐことを目的とした制度で、公共施設や商業施設などが集まる全ての施設が対象となります。あさひヶ丘は「施設内が終日禁煙であることを表示する」「施設に灰皿を置いていない」など認証要件を満たし認証されました。

今回の認証を受け、広報ただみ診療所（16ページ）のコーナーでは、「禁煙」をテーマにしておりますので是非ご覧下さい。

県の認証制度「空気のきれいな施設」
保健福祉センターあさひヶ丘が認証



▲修了証を受けとった7期生の皆さん(前列)と、講座を支えた関係者の皆さん(後列)

1月18日、地域福祉に貢献できる人材の育成を目的とした「ふるさと只見・人材育成講座」7期生の閉講式が只見振興センターで行われ、受講生8名が出席しました。

7期生は2年間の中で、町の福祉の現状や基本的な介護技術を学んだ他、松下政経塾や集落サロン、介護施設での研修で経験を積みました。そして、受講生3名がレクリエーション介護2級を取得するなど、大きな成果が見られました。

閉講式で受講生は「町の福祉の現状を学べて良かった」、「介護を必要としている人に恩返しをしたい」など2年間を振り返りかえり今後の抱負を述べ、地域福祉へ貢献する決意を新たにしました。

地域福祉を学んだ2年間
人材育成7期生 閉講式

南会津高校1年「山内花さん(二軒在家)」 距離女子クラシカルで優勝

南会津高校1年生の山内花さん(二軒在家)が、下記スキー大会のクロスカントリー競技において、優勝を果たしました。

只見中学校時代はバレーボール部に所属し、スキーは特設部で取り組んでいた山内さんですが、中学3年生の時に県中学体育大会フリー・クラシカル競技で優勝し、その後行われた東北大会で4位入賞、全国大会、国体など大舞台を経験し、高校から本格的にスキーに専念することを決め、今回優勝という結果を取めました。今後行われる全国大会などでの活躍が期待されます。

◆第62回県高校体育大会スキー競技クロスカントリー
距離女子クラシカル(5km)／優勝

◆第69回県総合体育大会クロスカントリー競技
少年女子5km／優勝(2連覇)



◀▲(写真提供/福島民友新聞社)
県総体スキー距離クラシカル
で大会2連覇を果たした山内
さん。おめでとうございます!



▲菅家町長(中)へ報告した脇坂齊弘さん(中右)、山内征久さん(中左)、馬場由人さん(右)、目黒大輔さん(左)

只見の米でご当地焼酎 「ねっか」焼酎の製造を始める

1月31日、地元農家など5名で設立した合同会社「ねっか」の皆さんが、焼酎製造を始める報告で菅家町長を訪問されました。ねっかは、町産の米を使って焼酎を製造し、地域の活性化につなげようと昨年7月に発足しました。梁取の空き家を改修して製造拠点を設け、地元の特産品を原料にすることなどを条件とした国税庁の「特産品しょうちゅう製造免許」を1月24日に県内で初めて取得し、4月17日からの販売開始を目指します。代表の脇坂齊弘さんは「焼酎を保存する樽も地元産の木材で作り、焼酎ラベルも只見出身の中野李央くんをお願いした」と焼酎の材料から関わる人まで全て地元こだわっていると話されました。今後、町の雪まつりで試飲ができるよう準備を進めていきます。

新種目を増設!只見町の選手活躍! 只見毎日杯Gスラローム大会

今年で44回目となる「只見毎日杯ジャイアントスラローム大会」(只見町、町スキー協会、毎日新聞社共催)が1月29日、只見スキー場で開かれ町内外から67名の選手が参加しました。

今回から従来の競技種目より7増の20種目で行われ、小学1年生男女を対象にスタート位置を下げた「キッズチャレンジ」を新設したほか、60歳以上のシニア男子を年齢に応じて5種目に分けるなど、幅広い年齢層に対応した大会を実施し、最高齢80歳の方が参加されました。大会では只見町の選手「小学女子2部/鈴木来菜さん」と「成年男子4部/目黒正さん」が優勝する活躍を見せ、大会は大いに盛り上がりました。



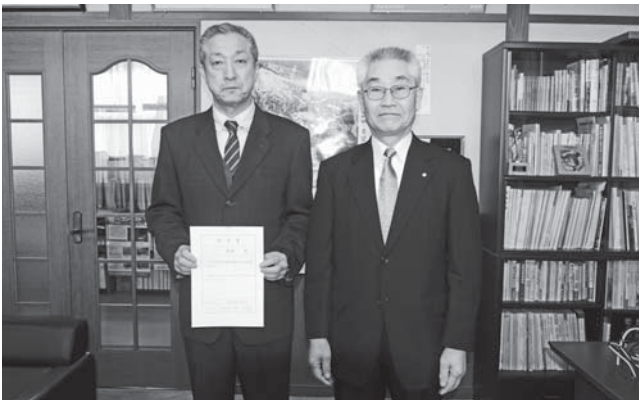
▲ポール際を攻める目黒さん(左)と鈴木さん(右)



▲優勝した只見スキーチームの目黒さん(左)と只見町スキースポーツ少年団の鈴木さん(右)

只見町固定資産評価審査委員会 委員に渡部茂氏が任命

1月10日、町役場において「只見町固定資産評価審査委員会委員の辞令交付式」が行われ、菅家町長から渡部茂さん(只見)に辞令書が手渡されました。渡部さんの任期は前任者の残任期間となり、平成28年12月22日～平成29年9月30日までとなります。また、固定資産評価委員会は全体で3名体制であり、現任の本名保美さん(黒谷)と舟木和一(小林)さんと共に、委員の職務にあたります。



▲辞令書を手にする渡部茂さん(左)と手渡した菅家町長(右)

只見自慢かるたで熱戦!! 世代間交流「かるた大会」初開催

1月21日、朝日振興センターで只見自慢かるたを使った「かるた大会」が初開催され、町内の大人や子ども約40名が参加しました。

この大会は世代間交流を目的に教育委員会が主催し、人材育成ダイヤモンドプラン4期生が3年前に作成した手作りの「只見自慢かるた」を使って行われました。

大会では4期生の皆さんが札を読み、参加者は勢いよく札に手を伸ばしていました。



▲自然・文化など只見の特徴が描かれた「只見自慢カルタ」を使って行われたカルタ大会

梁取地区の伝統行事 こがいまんざい 蚕養万歳と早乙女踊りで新年祝う

1月7日、梁取地区で新年を祝う歌舞「蚕養万歳」と、五穀豊穰・御家内安全等を祈願する「梁取早乙女踊り」が行われました。

この伝統行事は地域の子どもから大人まで参加し、梁取集会施設でお披露目を行った後、集落内の家を巡ります。巡る家は、区長や班長宅、厄年・新築、婚礼のあった家などとなっており、今年は6軒を巡り新年を祝いました。



▲早乙女踊りに先立って行われる蚕養万歳

スノースポーツの楽しさ伝える 未就学児向けスキー教室

明和自治振興会と明和振興センターが主催する「未就学児スキー教室」が、1月の日曜日(全4回)に南郷スキー場で開かれ、明和保育所さくら組の児童8名が参加しました。

参加した子供たちは、リフトの乗り方やスキーの滑り方など基本を学んだ他、おやつ拾いなどを行い雪の楽しさを体験しました。



▲インストラクターからスキーの基本を学ぶ児童

広報たのみ診療所

朝日診療所

医師 森 冬人



「日本は不思議な国ですね。なんでお店がタバコくさいの？」

イギリス人の知人から居酒屋で質問されました。イギリスなど先進国では全ての飲食店の禁煙は当たり前です。文化や和食、治安の良さなどで良い印象を持つ日本ですが、タバコくさいことは嫌がられています。今回はタバコのお話です。

タバコの害は2つ。タバコを吸う人は病気になりやすいこと、もう一つは周囲の人が病気になりやすくなることです。まず喫煙者は癌、心臓病、脳卒中、肺気腫などを起こしやすくなります。日本人の死因の約10%はタバコが原因だと言われています。自分がタバコを吸わなければ大丈夫でしょうか？お店で隣の人がタバコを吸うだけで影響があります。タバコの煙、喫煙者の吐く息には有毒物質がたくさん含まれています。これを吸うことが受動喫煙です。日本でも年間6800人が受動喫煙を原因とした肺癌・心臓病で死亡していると推測されています。受動喫煙は妊婦の流産や、子供の喘息・中耳炎も増やします。

さて、最近のオリンピック開催国では健康を考えて飲食店やホテルの禁煙が法律で達成されています。タバコ大国のロシアもソチオリンピック後は飲食店が完全禁煙になりました。日本も東京オリンピック開催

に合わせ2020年に法律で全ての飲食店や旅館が完全禁煙になる可能性が十分あります。

全ての町民をタバコの害から守るための提案が3つあります。

《喫煙者の皆様》

もしもタバコをやめたいときは禁煙外来をご利用下さい。

《タバコを吸わない皆様》

タバコくさい職場・お店には「タバコくさくさなければいいのになあ!」と声をかけて下さい。

《町長様、会社の社長様、飲食店の店長様》

2015年の労働安全衛生法改正により全職場の禁煙が努力義務になりました。町民をタバコの害から守るため、職場内禁煙という素晴らしい英断をしてはいかがでしょうか。

《禁煙外来》

3ヶ月間、5回の診察や薬で禁煙を手伝います。費用はタバコ購入費より少ないことが多いです。(自己負担3割の人は3ヶ月間で2万円弱)。詳しくは診療所医師へご相談下さい。

地域おこし協力隊として vol.27

只見教育振興協力隊
末谷 広大



「残りの時間」

季節は巡り、もう雪の舞う2月となりました。今年度も只見高校の3年生達は、それぞれの未来へと旅立とうとしています。只見町山村教育留学生の15名も、まだ見えぬ未来へと旅立つことを期待しながらも、これまでの3年間の生活に思いをはせているようです。「もう、〇日しか学校に通うことが出来ない。」「今思うと、大変よりも楽しいが大きかった。」という言葉を生徒達から聞いたり、普段はあまり話すことが少ない仲間同士であっても、放課後に自然と集まってこれまでの3年間の生活について語り合ったりしているようです。寮内でも、今まで賑やかで楽しい雰囲気は漂わせていましたが、その賑やかさがどこか寂しげな明るさ

へと変わったように感じます。

卒業生の皆さん。皆さんはきっとこの3年間で他の学校の誰より「心」が成長したと思います。前を向ってください。皆さんの未来は後輩や学校の先生、家族だけでなく、教育委員会やこれまで関わってきた只見町民、そして自身の中にある3年間の思い出がいつでも皆さんを支えています。頑張ってください。

【追伸】今回、地域おこし協力隊として3年間の満期を迎え、広報只見「地域おこし協力隊として」の原稿を書くのも最後となりました。私にとってこの3年間は、非常に様々な事を学んだ期間でありました。本当にお世話になりました。

只見ユネスコエコパークがめざすもの④

只見の産業振興を図る

今回は、地域資源を絶やさず活かしながら地域社会を発展させる只見ユネスコエコパークの取り組みについて紹介します。

「自然首都・只見」伝承産品

只見町には豪雪に特徴づけられる自然環境や天然資源が存在するとともに、それらの資源を利活用した地域独自の伝統的な生活や文化があります。それは地域のアイデンティティーであり、次世代へ継承し発展させていくことは地域社会を維持する上で重要な意味を持っています。それは、地域資源や地域固有の伝統的な生活や文化を持続可能な形で利活用することによって、地域の社会経済に役立て、その発展をめざすというユネスコエコパークの理念でもあります。そこで、町内にある生物資源や農産物を使用した産品、あるいは伝統的な技術で生産された産品を「自然首都・只見」伝承産品」とい



▲「自然首都・只見」伝承産品と生産者の方々

うブランドとして商品化する事業に取り組んでいます。これまでに、マタタビ・アケビ・ヤマブドウのつるで編んだカゴやザルの伝統工芸品、もち米と麦芽で作られた伝統食のアメ、凍み餅・凍み大根・打ち豆・干しワラビなどの伝統的な保存食、栃餅、トチノキやクワの蜂蜜、コクワで作ったジャム、只見町の水と米で作られたどぶろく、減農薬・天日干し

のお米、乾燥豆類、伝統的な炭焼きであるカジゴ焼きでつくられた炭の消臭剤、クロモジの楊枝や箸、ゼンマイ綿毛を使ったコースターや毛鉤、轆轤引きで作られた木工製品、ブナの葉の染物などが伝承産品ブランドとして町から認定されました。こうした産品は、只見町観光まちづくり協会の郷湯里、歳時記念館、只見保養センター、河井継之助記念館、ただみ・ブナと川のミュージアム、ふるさと館田子倉などの町内施設で販売されています。町を訪れた人が町特産のお土産を購入できる仕組みが整えられています。こうした地域資源や伝統技術を活かした産品が只見町に定着することが期待されます。

ただみ豪雪

林業体験・観察の森

只見町では、戦後すすめられた拡大造林の中で、集落の背後



▲ボランティアの方と実施した「体験の森」の整備・調査(平成28年6月)

にあつた薪炭林や採草地にスギやカラマツが植林され人工林の林となりました。これらは木材を生産するために造成されたものですが、木材価格が低迷し生産コストも割高なため、経営はむづかしく、ほとんどが放置されているのが実状です。しかし、こうした人工林という資源を活かさない手はありません。そこで豪雪地帯に適応した森林管理技術の開発とその普及を目指すプロジェクトがはじまりました。これは収奪的な林業ではなく、資源の持続的な育成と活用、そして環境への負荷を最小化にする育成林業をめざしています。平成二七年、具体的な事例を示すためのモデルとなる森林を「ただみ豪

雪林業体験・観察の森」(以下、体験の森)とし、その造成候補地を公募すると、三名の方から手が挙がりました。検討の結果、黒谷の小沼昇さんが所有するスギの人工林を体験の森にすることになりました。体験の森では、豪雪地帯に適した人工林の整備、持続可能な森林管理の教育と普及、森林レクリエーション、環境教育が実施されます。平成二八年には、ボランティアの協力のもと、毎木調査(どんな大きさのどんな樹があるか)、簡易測量、歩道整備を行いました。今後は伐採作業が予定され、体験の森の整備がさらに進むこととなります。この取り組みには、ユネスコエコパークと体験の森の趣旨に賛同していただいた(株)野村総合研究所の資金提供を受けています。体験の森は野村総合研究所の社員の方々も訪れ、社員研修の場としても利用されています。



只見短歌会

十二月詠草

大塚栄一

指導

受験校やうやく決めし女の孫の口数多く夕餉賑はふ

古川 英子

忙しなき年の瀬なればスーパーにシクラメンの蕾多きを選ぶ

馬場 八智

山近く住めば日の出の光飛び西空に見る朝焼けの雲

小倉キミ子

気付かずに立ち居する我に看護師はひそと寄り来て肩を叩くも

目黒 富子

亡き母の倒れし年ぞ我が齢病みて十年今日は命日

渡部ゆき子

訪ねたき人らを思ひ時流る我が日常に師走を迎ふ

関谷登美子

年の瀬も迫りて掃除そこそこに捲らぬ日めくり片付けてをり

渡部ヨリ子

保育所より帰りし曾孫リュック開け得意気になり連絡帳出す

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

一月例会

目黒十一

指導

騙すよに消えてしまいいり冬銀河
巻尺の戻る速さに隙間風

順子

冬の野や人見えずして暮れるなり
兄の星一つ加えて冬銀河

都

冬晴れや天草五橋キャンパスに
隅田川揺らしつつ師走夜景かな

修一

年毎に守られし馳走年新
除雪あと先づ手を温め缶コーヒー

洋子

爺傘寿婆の喜の寿や初日浴ぶ
昼灯すガソリンスタンド雪催ひ

一穂

去年今年静かすぎるや老二
丑三つのスーとつめたき隙間風

味代子

三日降り四日目の晴れ屋根なだれ
雪はげし訪う人もなかりけり

アツ子

風花や米寿の舞の凜として
病みてよし小さき夢や着ぶくれて

弘子

今にして背丈に並ぶ雪の嵩
ダンブ押すや鼻毛凍て付く今朝の冬

吉児

人集う道の幾筋恵方とし
寒満月しずかに峽を照らしけり

恒夫

極月を肌になりと灯油注ぐ
裏を見せ道敷く朴葉明日は雪

幸生

誰れ彼れの声近すぎぬ返り花
夕時の居間何時になき雪明かり

礼

寝ころんでスマホで見るか雪便り
風花やバレリーナのごと青空に

信

今月のお知らせ

電話番号

総合政策課 地域振興係 財政係	☎ 82-5220
総務課 総務係 職員係	☎ 82-5210
町民生活課 税務係 町民係	☎ 82-5110 ☎ 82-5100
保健福祉課 保健係 福祉係	☎ 84-7005 ☎ 84-7010
農林振興課 農政係 林政係	☎ 82-5230
観光商工課 観光係 商工係	☎ 82-5240
環境整備課 地域整備係 生活環境係	☎ 82-5270 ☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎ 84-2221 ☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
只見振興センター	☎ 82-2141
朝日振興センター	☎ 84-2111
明和振興センター	☎ 86-2111

お知らせ

厚生労働省福島労働局より
福島県最低賃金のお知らせ

福島県最低賃金が次のとおり
改定され、パートやアルバイト
にも適用されますのでお知らせ
します。

●福島県(地域別)最低賃金
平成28年10月1日発効
時間額 / 726円

▽産業や職種に関わりなく、
県内で働く全ての労働者
とその使用者に対して適
用されます。

●特定(産業別)最低賃金

▽平成28年12月より特定の産業
について設定され、「地域別最
低賃金」よりも高い金額水準
で定められています。

▽詳しくはホームページをご覧
ください。

《ホームページURL》

<http://fukushima-roundou-kyokujisite.mhlw.go.jp/>

▼お問合せ先

福島労働局賃金室
☎ 024(536)4604
会津労働基準監督署
☎ 0242(26)6494

自動車の移転(変更・抹消)
登録は忘れずに

福島県南会津地方振興局県
税部より、自動車税について次
のとおりお知らせします。

●自動車税の課税について

▽自動車税は、毎年4月1日午
前0時現在で自動車検査証
(いわゆる車検証)に記載さ
れている所有者(所有権留保
付自動車の場合は使用者)に
課税されます。自動車を他人

へ譲渡した、引越しをして住
所が変わった、使用しなくな
った等により車検証の記載と
実態が異なる場合には、すみ
やかに運輸支局で車検証の登
録変更などの手続きをお願い
します。

▽登録に関する手続は、南会津
自家用自動車組合や自動車販
売店、整備工場等にお尋ねく
ださい。

▽詳しくはホームページをご覧
ください。

《ホームページURL》

<http://www.pref.fukushi-ma.lg.jp/sec/01250a/jidosha-zeihenkotokoku.html>

▼お問合せ先

福島県南会津地方振興局県税部
☎ 0241(62)5212

東北運輸局福島運輸支局より
自動車の登録・検査について

自動車の登録・検査手続きは、
毎年3月に集中し、窓口や車検
場が大変混雑します。名義変更
や住所変更、廃車、車検などの手
続きは2月中に行うなど、でき
るだけ早めに済ませていただく
ようお願いいたします。

▼お問合せ先

東北運輸局福島運輸支局
住所 / 福島市吉倉字吉田54
登録・検査関係について
☎ 050(5540)2015

税 今月の納期

2月27日までに
納めましょう

- 水道使用料(4期)
- 農集排使用料(2月分)

只見おもしろ学クイズ

今回は只見おもしろ学ク
イズ中級編のクイズです。

(問題)

次の中から、第1回只見ふる
さとの雪まつりが開催さ
れた年を選んで下さい。

- ①昭和43年2月
- ②昭和45年2月
- ③昭和46年2月
- ④昭和48年2月

(答えは21ページです)



フナリン

新しい地域おこし協力隊が決定!! 3名の新たな力が加わる

町の教育振興を推進する為に、新たに3名の地域おこし協力隊が「奥会津・只見教育振興協力隊」として加わりました。

主な業務は、只見町山村教育留学制度や公営塾などを担当し、町教育委員会の勤務となります。3名の若い力が只見町を盛り上げていきますので、どうぞ宜しくお願いします！



まつもと たかよし
松本 貴芳さん(26歳)

出身地/愛知県名古屋
大 学/東海学園大学
前 職/佐川急便
趣味特技/スポーツ全般
(レスリング・柔術など)

《抱負・メッセージ》

私は主に只見町山村教育留学制度と奥会津学習センターを担当します。生徒達のやりたいことを引き出し、そして地域と結びつける役割を担っていきたいと思います。只見町は、良い意味で小さいからこそ関わることができると思っています。



わたなべ けいた
渡辺 啓太さん(26歳)

出身地/千葉県習志野市
大 学/東京理科大学
前 職/予備校講師・整体師
趣味特技/読書・地酒めぐり

《抱負・メッセージ》

私の業務は、公営塾講師で理数系を担当します。生徒が志望大学に入学できるよう課題解決だけでなく、社会に役立つ人材・人間力を育てられるよう伝えていきたいと思っています。私を見かけたら気軽に声をかけてもらいたいです！



わたなべ ふみ
渡辺 史さん(25歳)

出身地/福島県郡山市
大 学/東北大学
前 職/大和証券(株)
趣味特技/読書・映画・
ロックフェスに行くこと

《抱負・メッセージ》

町民の皆さん、はじめまして。公営塾では主に、文系科目の指導を担当いたします。只見町から自分の夢を叶え、社会で活躍できるような人材がたくさん育つように、一生懸命業務に取り組んで参りますので、宜しくお願いいたします。

町長スケジュール

(1月分)

- | | |
|---|---|
| <p>4日 仕事始め式(広域消防只見出張所、あさひヶ丘、役場本庁)、職員辞令交付</p> <p>5日 只見町新年交歓会、県関係機関及び新聞社等年賀挨拶(～7日 福島市ほか)</p> <p>6日 年始知事懇談会(福島市)</p> <p>8日 只見町消防団消防出初式</p> <p>10日 固定資産評価審査委員会委員辞令交付、会津ただみ振興公社臨時株主総会、財界ふくしま取材、只見町商工会正副会長来庁</p> <p>11日 町内誘致企業等～柏市等表敬訪問(～12日 大田原市～柏市ほか)</p> <p>13日 南会津地方環境衛生組合臨時会(下郷町)、南会津地方広域市町村圏組合管理者会・臨時会・全員協議会、南会津地方町村会懇談会(南会津町)</p> <p>16日 南陽会理事長来庁</p> <p>17日 只見町商工会新年会</p> <p>18日 明和自治振興会等陳情、人材育成ダイヤモンドプラン第7期生閉講式、只見町建設業協会来庁、NHKインタビュー、南会津地方環境衛生組合打合せ、只見中学校各種表彰報告、只見特産(株)新年会</p> | <p>19日 実施計画町長ヒアリング</p> <p>20日 只見町総合教育会議、定例庁議</p> <p>23日 只見ふるさとの雪まつり雪運搬開始式、南会津地方環境衛生組合予算査定(下郷町)</p> <p>24日 エコパーク連絡調整会議、東京大学海洋アライアンスとの協定締結式・記念講演会、会津医療センター副センター長来庁、実施計画町長ヒアリング、東邦銀行親和会新年会</p> <p>25日 赤字ローカル線の災害復旧等を支援する議員連盟要望活動(東京)</p> <p>26日 会津管内市町村等挨拶回り(～27日)</p> <p>28日 只見町青少年健全育成主張大会等、自然首都ただみ学術調査研究助成事業研究成果発表会、毎日新聞社との懇談会、自然首都ただみ学術調査事業懇談会、魚沼市只見線復旧応援団交流会</p> <p>29日 只見毎日杯Gスラローム大会</p> <p>30日 朝日地区区長連絡会要望、会津を拓く講演会・懇親会(会津若松市)</p> <p>31日 ねっか社長来庁、JR只見線復興推進会議県知事要望、第7回只見線復興推進会議検討会(福島市)</p> |
|---|---|

町民の消息

(12月26日～1月25日届出分) 敬称略

■おくやみ申し上げます

酒井 正 利	52歳	福 井
酒井 マ ン	89歳	長 浜
三 瓶 一 弥	80歳	只 見
梁 取 テルコ	87歳	長 浜
原 田 頼 男	82歳	黒 谷
山 村 敦	74歳	小 川
五十嵐 由 起	44歳	小 林
佐 藤 垣 作	83歳	叶 津

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成29年1月1日現在

人 口	4, 378 (- 8)
男	2, 149 (- 4)
女	2, 229 (- 4)
世帯数	1, 803 (- 5)
高齢化率	44.92%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 2 転出 2 出生 0 死亡 8

あとがき
 ▽1月前半は雪不足によりスキー場や雪まつりなどへの影響が心配されましたが、後半には降雪が続ぎ只見らしい雪景色となりました。
 ▽今回の雪まつりの大雪像は「熊本城」ということで、連日準備が進められています。現場の方々は吹雪の中、雨の中など様々な環境の中作業をし、2月11日～12日の本番に向けて頑張っています。今月号発行は2月10日でちょうど雪まつり前夜祭のときです。皆さん雪まつりに遊びに行きましょう！

(三瓶)

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

生涯学習推進員
湯田千穂

明和振興センター
図書室 ☎86-2111

おすすめ新着図書

★よるのばけもの



住野よる/著(双葉社)

住野よるさんの最新作ですが「君の臍臓をたべたい」、「また、同じ夢を見ていた」の作品とはひと味違った作品になっています。主人公は夜になるとバケモノになってしまいます。ある日、バケモノの姿で同級生にばったり会ってしまいますが、その子は学校でもイジメられている少し

変わった女の子で、バケモノの姿を見ても動揺することなく話が進んでいきます。好き嫌いが分かれる本だと思いますが、今まで住野よるさんの作品を読んだことがある方にはぜひ読んでいただきたいです。

★オルゴールワールド



にしにあきひろ/著
(幻冬舎)

この絵本は、お笑い芸人・キングコング西野さんが黒いペン1本で描いた絵本で、タレント・タモリさんによる原案が元になっています。

「好き」があるから争いが生まれる...。物語には「宗教」「戦争」「生物の進化」のテーマが含まれており、読んでいて考えさせられる深い内容です。そして絵に関しても、繊細なタッチの細密描写で独特の世界観も表現されており、オススメの一冊です。

★その他、別棟、図書室(旧支所)にもたくさん本を置いております、利用時間は午前9時から午後4時までです。(土日祝日は閉館)ぜひご利用下さい。リクエストも随時受付しています。



フナリン

只見おもしろ学の
答え合わせ!!

19ページクイズ答え
④昭和48年2月だよ!!
詳しくはガイドブック
P212~213を見てね!

オジロワシ

(学名: *Haliaeetus albicilla*)

[タカ目 タカ科]



▲伊南川の河畔林にとまるオジロワシ

オジロワシが2メートルを優に超える翼を広げて飛ぶ姿は雄大です。その開翼長は、なんと、あのイヌワシよりも少し長いのです。オジロワシは、ユーラシア大陸北部で春から秋の繁殖期を過ごし、冬には南下して日本列島にやってくる冬鳥です。日本国内でも、北海道での繁殖が確認されています。只見町にも冬に渡来しますが、ごく少数です。生息環境は水辺です。

伊南川や只見川、ダム湖などを探してみてください。

吹雪の中で河畔林の木の上にじっととまっているところや、晴れた空を飛んでいるところを見ることができるともありません。他の地域では、つがいが一年中行動を共にすることが観察されているので、一羽を見つけると周囲にもう一羽見つかる可能性もあります。

全身が薄茶色で目立ちませんが、オジロワシの名前の通りに尾が白いことと、顔と同じほどの大きさの淡い黄色のくちばしが特徴です。カモ類を襲うほか、魚類、動物の死体などを食べる肉食の鳥です。時には、他の猛禽類が捕まえた獲物を奪って食べることもあります。国の天然記念物であり、生息地の悪化や風力発電の風車への衝突、鉛弾で死んだエゾシカの捕食による鉛中毒などが問題となっており、絶滅危惧Ⅱ類と国内希少野生動植物種に指定されています。

写真教室

猪又かじ子写真教室

「只見の雪を記録しよう～写真による自然記録会」

日時：3月4日(土) 9:00～14:00

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム周辺

参加費：高校生以上500円、小中学生400円(入館料・保険料含む)

観察会

「冬のブナ林で野鳥を探そう！」

日時：3月19日(日) 10:00～12:00

場所：ただみ観察の森 檜戸のブナ二次林

参加費：高校生以上500円、小中学生400円(入館料・保険料含む)

※参加には事前申し込みが必要です。

詳しくは只見町ブナセンターまでお問い合わせください。

問い合わせ先：只見町ブナセンター 電話0241-72-8355

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください